

徳川幕府お抱えの奥絵師、木挽町狩野家の出身で、旗本の朝岡興邦の養嗣子、朝岡興禎（二八〇〇～五六）は、最晩年の嘉永三年から四年（一八五〇～五一）にかけ、聖徳太子の時代以来の絵画に関する多彩な情報を集めた『古画備考』四八巻五三冊の大方を執筆した。東京藝術大学附属図書館に所蔵される自筆稿本は、朝岡の生前に出版されることはなかったが、近代以降、多くの写本が作られ、現在、十余点が確認されている。その所有者の一人には、江戸絵画史を最初に執筆した国文学者、藤岡作太郎の名前も挙がる。いっぽう、朝岡の歿後、実家の木挽町狩野家に保管されていた原本も、日本の美術史学の立役者、アーネスト・フェノロサ (Ernest F. Fenollosa) が参照し、明治二四年頃には東京美術学校校長の岡倉天心の座右にあったことが明らかにされている。これらの事実は、江戸時代に編纂された本書が、日本の美術史を築いた近代人にとっても重要な書物として認識されていたことを物語っている。

現在、活字本の『増訂古画備考』は日本美術史の基本図書として通用しているが、もともと太田謹、片野四郎、川崎千虎ら草創期の館員が増補訂正を加えた東京帝室博物館所蔵の「図書寮印」の蔵書印を有する写本（「図書寮印」本）を底本にして、弘文館より明治三六～三七年（一九〇三～〇四）に第一版の和装一八冊、明治三六～三八年に洋装五冊として出版されたものである。活字本の首巻に所載される太田謹執筆の凡例によれば、博物館所蔵で「博雅諸彦ノ校訂」を経ていることが、原本ではなく「図書寮印」本が底本に選ばれた理由だったという。

さて、二〇〇三～〇五年度の第一期、二〇〇六～〇八年度の第二期の六年間にわたって取り組んできた科学研究費補助金基盤研究(B)「江戸時代における〈書画情報〉の総合的研究——『古画備考』を中心に——」は、両期

を合わせ、研究代表者一名、研究分担者六名、研究協力者六名の一三名から成る古画備考研究会を組織し、メンバーそれぞれが分担する箇所に生起する様々な問題に取り組んできたものである。とくに共通の課題として重視したのは、江戸の『古画備考』の実態と近代の受容の双方に目配りすることと、活字本の陰に隠れてほとんど顧みられなかった原本の草稿としての意義を明らかにすることであった。そこには一〇代の頃から父、狩野伊川院や兄、晴川院の導きで研鑽を積んできた古画研究の成果や同好の研究仲間から提供された情報が、メモや貼付された縮図となって凝集し、筆を執る朝岡の息遣いまでもが聞こえてくるようだ。

ここに研究成果として刊行する古画備考研究会編『原本『古画備考』のネットワーク』は、研究会のメンバーを中心に、松原茂氏をはじめ、定例研究会や調査の際にご協力下さった研究者にも参加を仰ぎ、二〇本もの『古画備考』に関する力のこもった論考やコラムを集めた、かつてない規模の総合的な論文集である。研究プロジェクトを推進するにあたり、ご支援を賜った東京藝術大学附属図書館、東京国立博物館をはじめ、多くの機関や個人の皆さまに深甚の謝意を表したい。本書とは別に刊行される『校訂 原本『古画備考』』とともに、両書に込められた多くの研究者の努力や新見が、今後、日本の美術史を学ぼうとする世界中の人々に活用され、学術の発展に寄与することになれば、心より嬉しく思うところである。

古画備考研究会 代表 玉蟲 敏子

目次

はじめに

『古画備考』をめぐる人々／凡 例

総論・『古画備考』に見る朝岡興禎の日本絵画観

——狩野伊川院・晴川院合作「和漢流書画卷」との比較から

玉蟲敏子 3

I 各巻からの報告

『本朝画史』と『古画備考』の関係

五十嵐公一 37

『古画備考』巻二〇上「雪舟」について

畑 靖紀 57

長谷川左近伝を読む

野口 剛 71

荒木千洲旧蔵『崎陽名画録稿』と『古画備考』

成澤勝嗣 91

南画史の視点で見た『古画備考』

——巻二六・二七を中心に

星野 鈴 99

*コラム 番町朝岡邸の乙女椿

玉蟲敏子 139

田能村竹田の「自娛」と「拙」

黒田泰三 147

『古画備考』における谷文晁の書画情報

鶴岡明美 171

『古画備考』 所載土佐家伝についての覚書	相澤正彦	191
『古画備考』 が伝える長隆写生図	加藤弘子	213
『古画備考』 卷三五「光悦流」の問題	玉蟲敏子	227
*コラム 狩野晴川院が描いた弟三次郎の後姿	松原 茂	255
狩野宗秀「遺言状」をめぐる考察	並木誠士	263
英流の書画情報	井田太郎	285
池上本門寺所在の狩野家墓碑と『古画備考』	安藤昌就	311

Ⅱ 『古画備考』と近代		
*コラム 『古画備考』の諸本	玉蟲敏子	353
フェノロサの浮世絵観と『古画備考』	鶴岡明美	363
藤岡作太郎と『古画備考』	村角紀子	377
昭和の『古画備考』——田中一松資料について	江村知子	407
執筆者のネットワーク——あとがきに代えて		
図版一覧／英文目次(翻訳 パトリシア・フィスター)／執筆者一覧／索引		

『古画備考』をめぐる人々

本書で言及する代表的な関係者を簡略に紹介。

◆原本の編著者



朝岡興禎
(1800~56)

初名信義、号平洲、後号山楽、通称三之介、三十郎また三次郎。幕府お抱え絵師の木挽町狩野家の狩野伊川院栄信の二男。兄は晴川院養信。文政2年(1819)12月28日に旗本朝岡興邦の養嗣子となる。養父の没後、表六番町に居住し、のち天保9年(1838)に裏六番町に転居する。ここで終生を過ごし、嘉永3~4年(1850~51)に『古画備考』48巻53冊の大方を執筆した。墓所は四谷の全勝寺に在ったが第二次世界大戦の戦火にて焼失。

◆原本の有力な情報提供者

<p>榎山坦齋 名義煇*、通称成徳、字徳忠、(1770~1842) 別号盤松軒。書画の鑑定に聞こえた江戸の町人。父は水戸の出身で、天保13年(1842)に73歳で没し、駒込の徳源院に葬られた**。著書に、『花押譜』『古今沿革図』『古今沿革地図』『皇朝名画拾集』、別名『続本朝画史』(文政2=1819年刊)などがある。幕臣の和学者、屋代弘賢(1758~1841)を支え、『古今要覧稿』の編纂にも参加。木挽町狩野家に入りし、若き朝岡興禎とも交流。そのよき協力者として多くの情報を『古画備考』にもたらしした。</p>	<p>菅原洞斎 号阮塘、秋田藩主佐竹家に仕え、(1772~1822) 谷文晁の妹、谷栄子(紅藍)を妻とする。『古画備考』では有力な情報提供者として名を連ね、『画師姓名冠字類鈔』(写本13冊が国会図書館蔵)を編纂。下谷の自宅で古書画展覧の会を主宰し、谷文晁、榎山坦齋、屋代弘賢、渡辺華山、加藤曳尾庵、石川大浪、山崎宗脩、立原杏所などが参加。近年の研究により、『文晁画談』は、この研究会などでの議論の成果と看做されるようになった***。滝沢馬琴の『滝沢家訪問往來人名簿』(早稲田大学図書館蔵)に居宅の地図が付載される。</p>
<p>観嵩月 名常雄、字子行また巨熊、別号(1755~1830)**** 糞虫庵。英流の高岡谷の弟子で、鑑定や俳諧をよくし、深川木場の材木商、築嶋屋に出自した。祖父の坂本雪花齋、別号米舟は、英一蜂と交際。『古画備考』巻44の英一蜂や英流の絵師、巻35の尾形乾山に関する情報の大部分は、観嵩月の提供に基づいている。榎山坦齋の隣家に居住したという。</p>	<p>西村貌庵 名伊之、通称佐兵衛、字宗先、(1784~1853) 別号歌仙堂等と称した吉原の町名主。能書で名高い近衛三院院に私淑したことからこの名がある。尾形乾山に傾倒し、乾山五世を名乗ったという。晩年の乾山と懇意の材木商、坂本家に出自した観嵩月より乾山遺物に関する情報をもたらされた。</p>
<p>* 安田篤生「江戸時代後期における書画展覧会と鑑定——谷文晁とその周辺——」(『前近代における「つかのまの展示」研究』平成17~平成20年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書)では、「貞吉」とも称していたとする。** 「渡辺華山」(『森鉄三著作集』第6巻、中央公論社、1971年)88~92頁、「花井虎一の墓所一覽」(『森鉄三著作集』第九巻)310頁、「榎山坦齋」(『森鉄三著作集続編』第三巻)113~115頁などによる。*** 勝盛典子「大浪から国芳へ——美術にみる蘭書受容のかたち」(『神戸市立博物館研究紀要』第16号、2000年)。**** 観嵩月の没年は築銘よれば文政13年だが、生年は、結城素明「東京美術家墓所誌」(昭和11年)145頁の「七十六」という享年の記述から、逆算した宝暦5年(1755)と推定される。</p>	

◆近・現代に継承した主な人々



アーネスト・フェノロサ
(1853~1908)

米国・マサチューセッツ州生。ハーヴァード大学で政治経済を学び、1878年(明治11)25歳で来日し、東京大学で政治学・哲学・理財学などを教授する傍ら、同大の理学部教場助手を務めていた狩野友信と出会った。その斡旋で当時の木挽町狩野家の当主、狩野勝川院雅信の下に在った朝岡興禎編著『古画備考』の原本を知り、筆写ノートを作成。主要著作に『Epochs of Chinese and Japanese Paintings』(邦訳『東洋美術史綱』)また『東洋美術史綱』がある。



片野四郎
(1867~1909)

号青郎、一時、松尾姓も名乗る。江戸青山紀州藩邸に生。明治23年(1890)に帝国博物館美術部に勤務し、同28年に臨時全国宝物取調局、同30年帝国美術史編纂部、同33年邦文帝国美術史編集委員、同36年古社寺保存会委員、奈良帝室博物館学芸委員などを歴任。書画の鑑定に優れ、『古画備考』の重要性を認識し、明治27年に『國華』58号で紹介。明治37年刊行の『増訂古画備考』首巻に解題を執筆する。早世を惜しんだ中川恵順らによって、明治42年に遺稿集『青郎遺稿』が編まれた。墓所は青山梅窓院。



藤岡作太郎
(1870~1910)

号李花亭、東圃、枇杷園など。石川県金沢生れ。明治27年(1894)東京帝国大学卒業。第三高等学校教授などを経て、明治33年に東京帝国大学助教授となる。国文学を専攻し、代表的な著書に『国文学全史平安朝篇』(1905年、東京開成館)がある。美術に造詣が深く、明治36年に出版された『近世絵画史』は不朽の名著とされる。明治27年頃、岡倉天心の講義録の筆写をとおして『古画備考』原本の存在を知る。藤岡旧蔵の『古画備考』写本類は現在、石川近代文学館の所蔵。



岡倉天心
(1863~1913)

福井藩士の子として横浜に生まれる。幼年より英語を学び、東京開成所(東京大学の前身)に入学し、政治学・理財学を学ぶ。来日したアーネスト・フェノロサの助手を務め、古美術の調査研究に協力。明治17年(1884)文部省図書取調掛主幹。東京美術学校開設後、校長となり、明治24年頃にはフェノロサが参照した原本『古画備考』がその座右に在ったことが知られる。「日本美術史」の講義においても『古画備考』を高く評価して活用した。墓所は東京駒込の染井霊園。主要著書は『岡倉天心全集』(全8巻別巻1巻、平凡社、1979~81年)に収載。



太田 譚
(1842~1925)

号高友、養愚、赤松軒、何陋居。(1842~1925) 江戸生まれ。初め教育畑を歩き、教科書編纂に尽力。明治23年(1890)臨時全国宝物取調局に転じ、同27年帝国博物館書記兼任、同30年鑑査物品保管主任、同32年臨時鑑査係、同33年帝室博物館部次長、また、邦文帝国美術史編纂委員、学芸委員を勤める。片野四郎らとともに『古画備考』の増補訂正に取り組み、明治36~38年に太田の補として『増訂古画備考』が刊行された。著書は『改正岐阜県地誌略下』『日本略史上巻』『鳥後印叢』『後素印叢』など。墓所は谷中霊園。



田中一松
(1895~1983)

山形県鶴岡生れ。大正12年(1923)東京帝国大学文学部美術史学科卒業。東京帝室博物館美術課嘱託を端緒に古社寺保存調査、国宝保存調査、重要美術品等調査委員会臨時委員を歴任。昭和25年(1950)から文化財保護委員会に勤務し、昭和28年東京文化財研究所所長、同40年國華主幹を務める。二十代より記録された膨大なノート類は、「昭和の『古画備考』」と通称され、近年、出光美術館を経て東京文化財研究所の所蔵となった。

◎執筆者一覧(収録順)◎

玉 蟲 敏 子(たまむし・さとこ)

1955年生。東北大学大学院文学研究科博士課程前期修了。博士(文学)。静嘉堂文庫美術館主任学芸員、東京国立文化財研究所情報資料部調査員(兼任)などを経て、現在、武蔵野美術大学造形学部教授。『絵は語る13 夏秋草図屏風』(単著、平凡社、1994年、第16回サントリー学芸賞)、『生きつづける光琳』(吉川弘文館、2004年、単著)、『都市のなかの絵』(単著、ブリュッケ、2004年、第16回國華賞)、『俵屋宗達 金銀の(かざり)の系譜』(単著、東京大学出版会、2012年)など。

五十嵐公一(いがらし・こういち)

1964年生。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。現在、兵庫県立歴史博物館学芸員。『近世京都画壇のネットワーク——注文主と絵師』(吉川弘文館、2010年)、『京狩野三代 生き残りの物語——山楽・山雪・永納と九条幸家』(吉川弘文館、2012年)など。

畑 靖 紀(はた・やすのり)

1971年生。東北大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。現在、九州国立博物館主任研究員。『失われた瀟湘八景図をめぐる』(『MUSEUM』第569号)、『室町時代の南宋院体画に対する認識をめぐる——足利将軍家の夏珪と梁楷の画卷を中心に——』(『美術史』第156冊)など。

野 口 剛(のぐち・たけし)

1966年生。東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。現在、根津美術館学芸第二課長。『近世京都の狩野派展』(京都文化博物館、2004年、展覧会図録)、『KORIN展 国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」』(根津美術館、2012年、展覧会図録)など。

成 澤 勝 嗣(なるさわ・かつし)

1958年生。早稲田大学大学院文学研究科博士前期課程修了。現在、早稲田大学文学学術院准教授。『長崎唐館図集成』(分担執筆、関西大学出版部、2003年)、『南蛮屏風集成』(分担執筆、中央公論美術出版、2008年)、『もっと知りたい 狩野永徳と京狩野』(東京美術、2012年)など。

星 野 鈴(ほしの・すず)

1947年生。東京藝術大学大学院美術研究科博士課程単位取得退学。現在、東京造形大学非常勤講師。『新聞をよむわたちの図像を追って』(『東京造形大学研究報』13号、2012年)、『池大雅筆蘭亭圖扁額草稿』(『國華』1354号、2008年)、『蕪村の絵画における絹本の意味』(『東京造形大学研究報』6号、2005年)、『水墨画の巨匠第13巻 浦上玉堂』(共著、講談社、1994年)など。

黒 田 泰 三(くろだ・たいそう)

1954年生。九州大学文学部卒業。博士(文学)。現在、公益財団法人出光美術館学芸部長。『アーティストジャパン47 田能村竹田』(同朋舎、1993年)、『思っきり味わいつくす 伴納言絵巻』(『アートセレクション』小学館、2002年)、『狩野光信の時代』(中央公論美術出版、2007年)、『もっと知りたい 長谷川等伯』(東京美術、2010年)。

鶴 岡 明 美(つるおか・あけみ)

1964年生。お茶の水女子大学大学院人間文化研究科比較社会文化学専攻修了。博士(人文科学)。現在、武蔵野美術大学非常勤講師。『江戸期実景図の研究』(中央公論美術出版、2012年)、『谷文晁筆「公余探勝図」とその周辺』(『古美術』105号、1993年)、『谷文晁『熊野舟行図巻』について——その主題と表現形式に関する諸考察——』(『お茶の水女子大学人文科学紀要』48号、1995年)など。

相 澤 正 彦(あいざわ・まさひこ)

1954年生。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。成城大学文学部芸術学科教授。『関東水墨画』(共著、国書刊行会、2007年)、『土佐光信』(新潮社、1998年)など。

加 藤 弘 子(かとう・ひろこ)

1967年生。東京都に奉職後、東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。博士(美術)。「野田洞沢筆「鳥類写生図」——尾形光琳筆「鳥獸写生図」との関係」(『美術史』162冊、2007年)、「円山応挙の写生図に関する調査研究」(『鹿島美術研究』年報第26号別冊、2009年)、「狩野探幽写生論——鳥獸と人物を中心に」(『國華』1386号、2011年)など。

松 原 茂(まつばら・しげる)

1948年生。東京教育大学教育学部芸術学科書専攻卒業。現在、根津美術館学芸部長。『断面日本絵画史』(木耳社、1988年)、『奥絵師狩野晴川院——「公用日記」に見るその活動』(『東京国立博物館紀要』第17号、1982年)、『詞書と執筆分担——絵画作品への書からのアプローチ』(『講座日本美術史1』東京大学出版会、2005年)など。

並 木 誠 士(なみき・せいし)

1955年生。京都大学大学院文学研究科博士後期課程中退。現在、京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科教授。『絵画の変——日本美術の絢爛たる開花』(中央公論新社、2009年)、『美術館の可能性』(共著、学芸出版社、2006年)、『中世日本の物語と絵画』(放送大学教育振興会、2004年)など。

井 田 太 郎(いだ・たろう)

1973年生。早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。現在、近畿大学文学部准教授。『富士筑波という型の成立と展開』(『國華』1315号、2005年)、『一蝶の文事と絵事』(『江戸文学からの架橋』竹林舎、2009年)、『幻住庵記考』(『国語と国文学』、第88巻5号、2011年)など。

安 藤 昌 就(あんどう・まさなり)

1966年生。立正大学文学研究科修士課程修了。現在、日蓮宗大本山池上本門寺霊寶殿担当主事。『池上本門寺と奥絵師狩野家』(坂詰秀一編『池上本門寺 奥絵師狩野家墓所の調査』池上本門寺、2004年)、『池上本門寺東谷の坊と池上本院』(『寺院史研究』第12号、2008年)など。

村 角 紀 子(むらかど・のりこ)

1972年生。筑波大学大学院修士課程芸術研究科日本画専攻・東京芸術大学大学院修士課程美術研究科芸術学専攻修了。鳥根県立美術館学芸員を経て、現在、無所属。「明治期の古美術写真——畿内宝物取調を中心に——」(『美術史』153冊、2002年)、『藤岡作太郎の美術研究活動——明治三十五年、須賀川、重政堂田善——』(『MUSEUM』615号、2008年)など。

江 村 知 子(えむら・ともこ)

1971年生。早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得。現在、独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所文化遺産国際協力センター主任研究員。「『燕子花図屏風』と二条家・西本願寺」(『イメージとパトロン』共著、ブリュッケ、2009年)、『土佐光吉と近世やまと絵の系譜』(『日本の美術』543号、ぎょうせい、2011年)など。

大名屋敷	249
鷹匠之図	143, 232
宅磨	360
「立葵図」(尾形乾山筆)	191
伊達家	235, 236
田中一松資料	232
『田能村竹田全集』	407~428
俵屋	107
耽寄会	85
『丹青若木集』	9
204~206, 213, 219, 220	
『探幽縮図』	20, 23, 76, 81, 197,
	204~206, 213, 219, 220
	6, 64
ち	
『親長卿記』	197
『親元日記』	197, 198
『竹田莊師友画録』	106, 107
『地下家伝』	201~203
「千つかの稲」	234, 288
千葉市美術館	241
「鳥獣戯画」	23
つ	
築地本願寺	245
築(筑)嶋屋	13, 233, 234
「月次風俗図」	23
「葛蒔絵螺鈿硯箱」	239
て	
帝国京都博物館	387, 388, 398~400
帝国博物館	358
帝国博物館総長	360
帝国美術史	360
帝室博物館	130
『殿中申次記』	197
と	
『東亞美術史綱』(『東洋美術史綱』)	
14, 27, 64, 100, 104, 228	
東京藝術大学附属図書館	353, 354, 357
東京国立博物館	21, 353, 354, 361
『東京国立博物館百年史』	357

『東京市史稿 市街篇』第三八	141
東京大学法文理学部	27
東京美術学校	127, 357, 383, 385,
393, 394, 396, 401	
東郷元帥記念公園	143
「道成寺縁起」	198
「東照神君図」	111
『唐伝若芝鏝細工系図』	91
『東壁堂蔵版目録』	240
東北大学附属図書館	354
『東遊記』	119
『東洋美術史綱』 → 『東亞美術史綱』	
『徳川時代絵画史稿』	378, 381, 401
徳島市立徳島城博物館	139
禿筆家之碑(栄川院典信筆塚)	322
『読老庵日札』	122
土佐(土佐派・土佐家)	23, 78, 104,
122, 124, 191~207	
『土佐文書』	197, 198
鳥羽金剛心院扉絵	195
鳥羽上皇像	195
「杜陵子話」	249
な	
『長崎画人伝』	91, 93, 97, 98, 118
「長崎画人伝」	357, 361
『長崎先賢伝』	96, 98
長崎派	124
中橋狩野家	313, 340
『名古屋縣管内蔵板箇所取調書』	240
『浪華画人組合三幅対』	116
鳴滝寮	232
南画	99, 101~107, 109, 110, 112,
116, 119, 122, 124	
『南画集』	106
『南画史要』	106
「南画論」	109
南宗	104
に	
日蓮茶毘所	313, 329, 341, 342
日本絵画論大系	204
『日本画論大観 中巻』	43, 44

『日本古典籍書誌学辞典』	358
『日本人物情報大系』	353
『日本人名大辞典』	128
『日本南画史』	102, 106
日本美術院	394, 395
「日本美術史」講義(岡倉覚三)	127,
383, 385, 401, 402	
ね	
根岸党	393, 395, 396, 401
根津美術館	83, 87
「年中行事絵巻」	23, 195
の	
『宣胤卿記』	196, 197, 199, 206
は	
ハーヴァード大学 A・サッカー美術	
館	28
ハーヴァード大学燕京図書館	28, 228
「白衣観音像」	22, 23
白隠像	234
白玉齋先生筆塚之碑	324
幕臣屋敷	143
幕府御用絵師	11
「芭蕉翁十哲像」	108
長谷川派	76, 82~85, 87
旗本屋敷	143
蜂須賀家	139
『八種画譜』	105, 120
「波濤図屏風」	247
『英一蝶考証』	305
『英一蝶伝』	289
『英一蝶略伝』	305
英流	13, 229, 234, 234, 355
英流系図	233
堀氏	356
「はね馬の障子」	360
浜町狩野家	27, 313, 342
林大学頭	123
播磨池田家	23
『艘舟三味院記』	197
「半日閑話」	299

『万宝全書』	228
ひ	
美術史学	8
「日高川縁起」	198
「筆耕園」	16
筆様	17
『ひとりね』	43
「百幅天神像」	359
『檜山坦齋禪記』	11, 48, 230, 249
ふ	
「風神雷神図屏風」	247
『武鑑』	114
武家庭園	144
「富士山図」	17
『武清縮図』	304
「豊千寒山拾得図」	11
『扶桑名画伝』	128, 129, 220~222
『扶桑名公画譜』	81, 231
『筆のまに〜』	238
冬木家	234
文人画	104, 110, 112
文人画家	113
『文晁過眼録』	183, 184, 186
『文晁画談』	12, 78, 79, 183, 231,
245, 246, 248	
へ	
『平安人物志』	6, 122
『秉燭譚』	41
『弁玉集』	6, 72, 80, 81, 222, 276
ほ	
法印探幽齋狩野守信碑誌并銘	313, 314,
318	
『法苑珠林』	41
「仿雪舟流書手鑑」	17
「法然上人四十八卷伝」	195
『北齋漫画』	240
『墨水消夏録』	296, 297, 307
『北窗翁遺文』	287, 292, 293, 296, 297
『北窓瑣談』	119

『皇朝名画拾彙』(統本朝画史) 10, 37, 43~53, 76~82, 114, 196, 204, 205, 207, 214, 230
 『校訂 原本 『古画備考』』 358, 362
 弘文館 354
 『稿本日本帝国美術略史』 3, 250, 381
 『公用日記』 141, 318, 255, 256
 光流 228
 『光琳印譜』 230
 光琳絵手本 239
 『光琳絵本道知辺』 239
 「光琳画巻跋」 238
 光琳顕彰活動 246
 「光琳扇面絵粉本跋」 237
 「光琳の鶴」78~80, 82, 245, 246, 248
 光琳派 228, 250, 251
 『光琳百図』 88, 242
 『光琳百図』後編 237, 239
 光琳百年忌 232, 238, 239
 光琳蒔絵 239
 『光琳漫画』 239, 240
 『光琳道知辺』 239
 故畫院法印養川先生筆冢銘 324, 327
 「古画写貼交屏風」 18
 古画研究 245, 362
 古画趣味 8~10, 26, 242, 244, 247
 『『古画備考』 原本引用書画・資料一覧』 8
 『古画備考五十音別索引』 353
 『古画備考』写本(藤岡作太郎旧蔵本、石川近代文学館蔵) 387~401
 『古画備考』写本(帝国京都博物館本) 397, 400, 401
 『古画備考』写本(東京藝術大学附属図書館本) 58
 『古画備考』目録写本(東京国立博物館本) 384
 古器旧物愛好会 360
 『国史大辞典』 131
 国立国会図書館 354
 「心の掟」 10, 111
 『古今沿革図』 10
 『古今沿革地図』 10

『古今丹青』 6
 『古今墨跡鑑定便覧』 115, 119
 『古今要覧稿』 11, 114
 「後三年合戦絵巻」 23
 小下絵 18
 古社寺保存法 360
 巨勢(巨勢派・巨勢家) 191, 194, 196, 200
 『五千分一東京図測量原図』 143
 『國華』 106, 111, 127, 128, 131
 「後土御門天皇像」 198
 古土佐 75, 77
 後鳥羽院本「三十六歌仙図」13, 14, 20
 小納戸 256, 258
 小西家文書 88
 小林鎌三郎邸 142, 144
 木挽町狩野家 9, 11, 24~27, 112, 141, 244, 313, 318, 319, 340~342, 356
 古物ハンター 361
 古法眼 264, 274, 275, 278, 282
 『後亦復一楽帖』 164

さ

「斎宮女御図」 22
 材木商 233
 『西遊記』 119
 酒井雅楽頭家 244
 酒井家 245
 佐竹家 12
 佐竹本「三十六歌仙絵巻」 22
 『実隆公記』 197
 「三十六歌仙 元真像」 132
 「三十六俳仙図」 108
 『山中人饒舌』110, 116, 125, 148, 149

し

『自画題語』 151
 『自画題語 後編』 164
 『自画題語 前編』 161
 「地獄草紙」 195
 四条派 118
 芝愛宕下狩野家 313

芝(芝家) 191, 200
 思文閣出版 353, 354
 鳥絵 25
 「写生花鳥図巻」 196
 写生図巻 140
 写生派 122, 124
 「執金剛神縁起絵巻」 237, 238
 『重修栄花物語系図』 10
 浄栄寺 245
 「松鶴図屏風」 24
 松花堂流 229
 『松斎梅譜』 11
 『上代倭絵全史』 7
 『正徹物語』 47
 『芝陽漫録』 9, 19
 『常楽記』 197
 「松轡古寺図」 156
 浄立寺 245
 書画会 107
 『諸家人名 江戸方角分』 289, 298
 『諸生初見帳』(古義堂文庫蔵) 40~42
 書籍館 358
 書流後学之 228
 『史料大観』 129
 「白鷺図」(宗達筆) 12, 248
 新梅屋敷 245
 神宮文庫本 368
 神宮文庫 354
 『仁斎日記』(古義堂文庫蔵) 42
 『壬申掌記』 292
 『新撰大人名辞典』 128
 「神農図」(東京国立博物館蔵) 40
 「新豊折臂翁」 195

す

「隋(随)川印譜」 72, 77
 「図書寮印」本『古画備考』 4, 8, 29, 31, 57~64, 66, 67, 267, 353, 357~362, 377, 391, 398, 400
 住吉家 21, 22, 191, 194, 199, 220, 221, 227
 『住吉家記』 199
 『住吉家古画留帖』 22

『住吉家留』 199

せ

静嘉堂・静嘉堂文庫 241, 354
 静嘉堂文庫美術館 241, 247
 『青邱遺稿』 128, 129
 「西湖図」 23
 晴川院筆塚 329, 339
 清凉寺釈迦像 197
 清凉殿昆明池御障子 360
 雪舟派 5, 23, 29
 「雪舟筆以参周省・了庵桂悟賛山水図」 64, 66

全勝寺 145
 千鍾坊 114
 「船窓小戯帖」 168
 『全相二十四孝詩選』 41
 全方位的視点 27
 「扇面貼交屏風」 241

そ

宋元画 9
 「宋元画幅」 19
 「宋元名軸画図」 18
 「宗達写扇面図巻」(尾形光琳筆) 237, 238, 242
 『宗達の水墨画』 249
 宗達派 81, 85
 『増訂古画備考』 107, 113, 126, 127, 129, 132, 141, 133, 180, 377, 387
 『続長崎画人伝』 91, 93, 97, 98
 『統本朝画史』 10
 『統三十幅』 296
 『素川本図絵宝鑑』 276
 「村居眺起図」 153, 154, 158~160
 尊経閣文庫 354
 『尊卑分派』 195

た

第一次写本 358, 359
 『台記』 195
 「大師行状記巻物」 356
 『第二回観古美術会出品目録第一号』

「宇佐八幡宮縁起絵巻」 356
 「兎道朝暎図」 106
 「鶴舟図」 247
 『運筆麤画』 120

え

『栄花物語』 52
 栄川院筆塚 339~340
 回向院 197
 『画師相撲見立』 6
 『画師姓名冠字類鈔』 12, 73, 77, 88, 236, 238, 287, 289~293, 296~298, 304, 306, 307
 「江嶋縁起」 356
 絵所(絵所預) 194, 196, 199, 201~203
 江戸城本丸黒書院 18
 『江都諸名家墓所一覽』 122~124
 『江戸当時諸家人名録』 122
 江戸の学知 27
 『江戸名所図会』 291, 307
 江戸琳派 124
 『絵本写宝袋』 120
 『画本図編』 287, 302
 『絵本手鑑』 121
 『画巧潜覧』 120
 MOA 美術館 239
 園芸趣味 144

お

扇絵 16
 扇座 16
 『御江戸番町地図』 142
 御絵番 256
 御絵番掛 112
 御絵番坊主 259
 大沢家 235
 「大中臣能宣像」 196
 『岡倉天心全集』 127
 尾形光琳居士一百週諱展観会 → 光琳百年忌
 尾形流 227, 231, 236, 249, 250
 尾形流学習 235
 『尾形流略印譜』 230, 231, 236, 239,

245
 奥絵師 112, 126, 255
 御小納戸御絵番 257
 御小納戸役 112
 押絵貼屏風 270
 御すき見(御透見) 257
 おそくつの絵 7
 表絵師 112
 表六番町 141~143

か

『槐記』 18, 43
 『芥子園画伝』 105, 120
 會心齋先生筆塚銘 330
 『絵事考録』 293
 『絵事鄙言』 104
 『花押譜』 10, 114
 『花街漫録』 303
 『画学斎過眼図彙』 173, 184
 『下学集』 223
 加賀藩邸 28
 「柿本麻呂像」 198
 『隔篋記』 276, 279
 『花月日記』 299
 『画巧潜覧』 121
 『画工便覧』 5, 44, 73, 76, 77, 204~207
 『画工譜略』 276
 『画史』 20
 『画史会要』 25, 121
 鍛冶橋狩野家 18, 313, 342
 「勸修寺絵巻」 198
 『画乘要略』 108, 109, 112, 121, 125, 204, 230, 293
 春日 193, 195, 196, 198, 201, 203
 春日絵所 195
 「春日靈験記」 195
 上総狩野氏 312, 313
 『画筌』 121
 『雅俗日記』 393, 394
 「片袖縁起」 72, 78
 『花鳥写生画巻』 214~223
 「学古帖」 17, 19, 25

活字本 58
 『狩野五家譜』 318~321, 326, 327
 狩野(狩野派・狩野家) 99, 102~106, 110, 116, 119, 120, 122, 124~126, 133, 191, 200, 205~206, 263, 270, 274, 276, 278, 280, 282
 「画法巻」(京都国立博物館蔵) 62
 『鶯峯先生林学文士文集』 41
 唐絵 16, 19
 「唐絵大手鑑」 18
 唐絵目利 91
 唐物 16
 「漢画巻」 14, 19, 25, 26
 観古美術会 249
 『寛政重修諸家譜』 200
 関東大震災 314
 『看聞日記』 197

き

「其角似七名人」 245
 岸派 118
 『吉記』 195
 紀伝本 5
 「紀園粉川寺縁起」 356
 「吉備大臣入唐絵巻」 195
 求古楼展観 9
 旧東寺本「山水屏風」 5
 『狂画苑』 302
 『胸中山』 123
 京都国立博物館 354, 400, 401
 京都大学附属図書館 354
 『京羽二重』 42
 『崎陽名画録稿』 11, 91, 93
 『玉葉』(玉海) 195
 「魚草木写生図巻」 139
 「清水寺縁起絵巻」 198
 『歸旅漫録』 230
 『近世逸人画史』 112, 115, 121, 122, 124, 125, 231, 236, 242
 『近世絵画史』 102, 106, 303, 377, 378, 402
 『近世奇跡考』 287, 295, 298, 306
 『近世豪傑譚』 111

『近世人名録集成』 122
 近世的な学知 8
 「近世名家肖像図巻」 394, 395

く

宮内省図書頭 360
 宮内省図書寮 358
 国生みの神話 20
 黒田家 16
 『摺印補正』 115
 『君台観印』 6
 『群蝶画英』 287, 302

け

『軽挙館画漢』 234, 288
 乾山遺物 13
 『乾山遺墨』 234~236
 乾山顕彰活動 236
 「乾山名前讓状併傳書一冊懸物一幅」 236
 「源氏物語絵巻」 195
 「源順図」 13, 20
 『原書』 229, 230
 「元真図」 16, 20, 21
 「賢聖障子」 7
 阮塘会 79
 『見聞談義』 40
 原本借用書 361, 384
 『元明画人考』 112
 『元明清書画人名録』 112

こ

『広益諸家人名録』 6, 107, 110, 114, 116
 『光悦派画集』 228
 『光悦派三名家集』 228
 光悦流 26, 227~232, 234, 236, 237, 242, 244, 246~251
 好古会 129, 130, 360, 361
 『考古画譜』 398
 『好古雑誌』 130
 好古社 130, 131, 133, 360
 『好古小録』 20, 204~206
 『好古類纂』 22, 131~133, 360

ほ	
呆夫良心	60
鳳林承章	276
堀七五郎	245
堀直格	220, 221
本阿弥光悦	25, 26, 80, 228~230, 250
本阿弥光甫	80
本是院妙性	321, 322
ま	
前田香雪	131
前田夏蔭	332~335
益田孝	129
益継 →六角益継	
町田寛好(融女)	332, 335
町田久成	394
松浦詮	131
松浦武四郎	131, 133, 361
松尾四郎 →片野四郎	
松尾芭蕉	304
松沢孫八	304, 305
松平定信	92, 299
松平芝陽	9, 19
松平齐善	256
松平乘蒔	45
松平帯刀	198
松平康任	18
松村景文	109
円屋(丸屋、満留屋)源兵衛	38~40, 42
円山応挙	100, 101, 103, 118
み	
三上景文	201, 202
溝口禎二郎	130
三井親和	341
三谷三九郎	302
光興	196, 205
光秀	196
光正	204~206
三村惟芳	337, 340
三村養實	337
三宅友信	112

妙華尼	245
明兆	28
む	
村田珠光	47
も	
孟子	160
牧谿	11
桃田柳栄	313
桃田柳昌	313
森銚三	12, 43, 122
や	
八嶋正治	358
屋代弘賢	9, 11, 12, 48
安田篤生	9, 12, 238
柳沢淇園	43, 103, 112
柳澤米翁	235
山口雪溪	114
山崎宗脩	12
山崎董烈	109
山崎美盛	9
山科道安	43
山高信離	386, 387, 399, 401
山名義海	359
山根有三	82, 84, 85, 238, 242, 427, 428
山本惟昌	339
山本梅逸	107
ゆ	
結城素明	321
よ	
横井時冬	129, 131
横谷宗珉	302
横谷宗与	305
与謝燕村	101, 107, 108, 114, 118
吉澤忠	102, 103
吉野屋惣兵衛	38, 39

ら	
頼山陽	112, 153~157, 164
り	
リピット、ユキオ	17
笠翁	25
流光斎如圭	109
立圃	25
了庵桂悟	64, 66
輪王寺宮公寛法親王	114, 232, 236
れ・ろ	
冷然上人	245
魯庵純拙	67
六角益継	196, 205
六角光益 →寂濟	
わ	
若林勝邦	129
脇本楽之軒(十九郎)	214, 222
綿田稔	62, 63
渡辺鶴洲	93, 97
渡辺崋山	10, 12, 102, 107, 111, 112, 114, 124
渡邊左近	118
渡辺秀石	93, 97
渡邊漆水	113

【事項】

あ	
『浅井不旧印譜』	231
「朝岡興禎小伝」	142
朝岡邸	139~142, 144, 145
浅草文庫	353, 358
麻布一本松狩野家	313
「足利義満像」	198
「蘆屋釜下図」	198
網代の図	360
安土城障壁画	267
『穴太記』	197
荒海御障子	360
栗田口家	191, 200
『安見御江戸絵図』(天保四年板)	141
い	
池上本門寺	312, 313, 337, 339
医光寺	60
石川近代文学館	354, 377, 378, 382, 383, 386, 387
伊川院筆塚	327
伊豆狩野氏	313
『一話一言』	238
「巖島神社三十六歌仙扁額」	198
『一蝶画譜』	287, 302
『一蝶流讀考』	286, 296~298, 302, 305, 306
「稻川舟遊図」	168
『筠庭雜録』	287, 307
『印譜集』(ハーバード大学燕京図書館蔵)	28, 64, 66, 228
う	
上からの視点	26, 27
上野博物館書籍室	358
浮世絵	26, 105
『浮世絵考証』	297
「浮世絵史考」	364~367, 374
『浮世絵類考』	364~373
『浮世絵類考追考』	368, 370
雨華菴	230, 244~245

と

土居次義 81, 82
 董其昌 25
 董九如 109
 東郷平八郎 143
 等木 73, 75~77, 82, 87, 88
 徳川家斉 257, 258
 徳川家慶 258, 259
 徳川千三郎 →松平齐善
 徳川斉脩 9, 110
 徳川斉明 257
 徳川吉宗 25
 徳川義恭 11
 徳富蘇峰 392
 土佐刑部経光 25, 198, 204~205
 土佐広周 196, 198, 205
 土佐光起 25, 191, 194, 198~200, 202
 土佐光貞 202
 土佐光孚 202
 土佐光季 196, 205
 土佐光輔 205
 土佐光祐 199
 土佐光純 204, 206
 土佐光親 202
 土佐光時 202
 土佐光直(光淳) 202
 土佐光長 23
 土佐光成 199, 202
 土佐光信 23, 195, 196, 198, 199, 204~207
 土佐光則 196, 199, 202, 205
 土佐光茂 196, 199, 204~206
 土佐光周 205
 土佐光弘 196, 205
 土佐光元 196, 199, 202, 204~206
 土佐光元妻某氏 204~206
 土佐光芳 25, 78, 199, 202
 土佐光吉 194, 196, 199, 204, 205
 土佐行秀 196~198, 204, 302
 土佐行広 196~198, 204, 205
 鳥羽僧正 23

富岡謙蔵 392
 富岡鉄斎 392
 鳥居耀蔵 45

な

内藤湖南 392
 長尾七郎右衛門 242
 中尾樗軒 115, 122~125, 231, 236
 中川忠順 128
 中島純司 353
 中島理壽 122
 中野其明 231
 中野三敏 122
 仲町啓子 241
 永峯典廣 337, 339, 340
 中村幸彦 40
 中山養福 139~141, 337
 奈良屋太兵衛 291
 奈良屋茂左衛門 291
 成島勝雄 326
 成島司直 327
 成島良讓 330
 南蘋 →沈南蘋

に・ね

西村藐庵 13, 20, 21, 114, 132, 235, 236, 303, 304
 根岸武香 131
 根津嘉一郎 87

の

野口幽谷 399
 野々村忠兵衛 239
 野村寅三郎 75, 77
 野村素介 305
 野呂介石 107

は

馬遠 60
 橋本榮邦 339
 橋本雅邦 113, 120, 311, 337
 芭蕉 →松尾芭蕉
 蓮池兵左衛門 16

長谷川久蔵 81
 長谷川左近 72, 73, 75~82, 87, 88
 長谷川雪旦 291
 長谷川宗宅 80, 81
 長谷川宗也 81
 長谷川等秀 84
 長谷川等重 81, 82
 長谷川等伯 72, 73, 75~77, 81, 84, 250
 英一珪 287, 292~294, 297
 英一舟 291, 292, 297
 英一蠅 297, 302
 英一蝶(初世) 13, 77, 116, 229, 234, 285, 287, 291, 293~296, 298, 300, 302~307, 367, 369
 英一蝶(二世) 290, 292
 英一蜂(初世) 13, 234, 291
 英子蟬 291
 林鶯峰 38, 45, 314
 林述斎 45
 林信敬 45
 林信言 341
 林禮宇 45, 46
 林信充 341
 林鳳岡 38
 原三溪 301
 原安民 383
 春木南湖 107

ひ

彦根善意 256, 259
 菱川師宣 366
 飛驒守惟人 23
 英子女王 257
 日野輝光 247
 檜山坦斎(成徳) 7, 9, 10, 11, 12, 21, 22, 26, 43~45, 47~50, 52, 53, 75~80, 87, 88, 96, 98, 104, 111~115, 121, 133, 203, 205, 214, 229~232, 244~249
 平出鏗二郎 385, 386
 平野満 9

ふ

フェノロサ、アーネスト・フランシスコ 3, 6, 14, 27~29, 64, 66, 100, 101, 104, 105, 109, 110, 228, 229, 357, 361, 363~367, 369, 371, 374, 385
 福井利吉郎 11, 231
 福羽美静 130
 藤岡作太郎 102, 106, 109, 303, 354, 377~402
 藤原有房 201
 藤原相信 52
 藤原助如 52
 藤原隆能 194, 195, 205
 藤原為家 196
 藤原経隆 194, 205
 藤原定家 51, 245
 藤原長章 204, 205, 213
 藤原長隆 196, 201, 204, 205, 213~215, 219, 220, 223
 藤原信実 22
 藤原光顕 196, 204, 205
 藤原光国 196, 197, 201, 204, 205
 藤原光重 196, 201, 205
 藤原(常盤)光長 194~196, 204, 205
 藤原基光 191, 193~195, 201, 205, 206
 藤原行光(光行) 191, 192, 194, 196, 197, 205
 藤原行長 205
 藤原良門 193~194
 藤原吉光 194~196, 198, 204, 205, 215
 ブロンホフ、ヤン・コック 240
 文徵明 25

へ

米化 →観嵩月
 米儀 288
 米舟 288
 米芾 20

景徐周麟 24
 乾山五世 →西村藐庵
 玄賞齋 →狩野栄信
 建凌岱 113

こ

鯉屋伊兵衛 303
 黄公望 161
 孔子 160
 高嵩谷 289, 290, 292, 297, 303
 高嵩雪 290
 後宇多院 46
 幸田成友 392
 幸田露伴 393, 395
 河野元昭 14, 111
 古賀十二郎 91
 後光厳院 46
 呉春 108, 118
 後白河院 46
 小杉樞邨 58, 129~131, 353, 394
 巨勢金岡 19
 呉太素 11
 後奈良院 46
 近衛家熙 18, 43
 近衛院 46
 近衛忠熙 258
 近衛信尹 229
 後花園院 46
 小林鎌三郎 141, 142
 小林自閑齋 318, 319
 小林甚五左衛門 141
 小林太市郎 233
 小林忠 103
 古藤養山(惟旭) 318, 319
 後堀河院 51
 後水尾院 46
 小宮山南梁 111
 小宮山昌世 286, 287
 後陽成院 46
 近藤正齋 299

か

斎藤幸孝 291

酒井鶯蒲 245
 酒井抱一 12, 13, 88, 114, 124, 227,
 229~232, 234~240, 242, 244~250,
 288
 彭城百川 112~114, 119
 坂崎坦 43, 44, 204
 坂本米舟(雪花齋) 13, 233, 234
 佐久間洞巖 119
 佐々木文山 305
 佐々政一 378
 佐藤晚得 296
 佐原鞠塙 235, 245, 299
 佐脇嵩之 289, 293
 佐脇嵩雪 297
 三条西実隆 199
 山東京山 286, 287, 299, 302
 山東京伝 287, 298, 299, 302, 307
 杉風 →杉山杉風

し

鹿田松雲堂(静七) 385, 386, 392,
 393, 396, 401
 子建寿寅 52
 司馬江漢 103
 島田修二郎 11
 清水御隠居 →英子女王
 清水濱臣 235
 寂濟(六角光益) 196, 197, 204, 205
 寂誉 202
 秋月 23
 周平 203
 性応法親王 121
 松花堂昭乘 25229
 庄司道恕齋 234
 勝川院 →狩野雅信
 聖徳太子 5, 247
 松梅院禅昌 229, 230
 聖武天皇 46, 50
 白井華陽 121~123, 230
 白子屋権兵衛 →岡田米仲
 沈周 25
 沈南蘋 25, 109

す

菅原洞齋(阮塘) 9, 10, 12, 48, 73,
 75, 77, 79, 80, 87, 88, 231, 236,
 238, 240, 246, 248, 287, 289, 292,
 293, 297, 299, 302
 杉山杉風 304
 鈴木其一 231, 305
 鈴木半茶 235
 鈴木鄰松 287, 302, 303
 スティルマン 28
 須藤茂樹 139
 須原屋茂兵衛 114
 角倉玄之(素庵) 228
 住吉内記 142
 住吉広尚 198

せ

是庵 →子建寿寅
 晴川院 →狩野養信
 赤猫齋全暇 114
 関良雪 130
 雪舟 5, 23, 29, 57, 60~67
 雪深等澤 62
 雪村 73, 75, 77, 87, 88
 宣宗 14, 25
 泉必東 113

そ

曾我蕭白 119, 120
 曾我蛇足 25
 曾木土功 153

た

戴文進 25
 高倉院 51
 多賀孤雲 296, 297
 多賀孤水 296
 高階隆兼 194, 196
 高島千春 114
 隆相 205
 高田敬圓 119
 隆親 205

高橋草坪 167
 高橋太華 354, 392~396, 401
 宝井其角 234, 293, 300
 滝沢馬琴 9, 230
 瀧精一 410~412
 竹垣庄藏(三右衛門) →竹垣直清
 竹垣直清(柳塘) 9, 238, 297~300,
 306
 武田恒夫 120
 竹本五兵衛 306
 橘南谿 119
 橘守国 120
 立原杏所 11, 12, 102, 107, 110,
 111, 124, 244
 立原春沙 111
 立原翠軒 111, 114, 123
 立川焉馬 299
 立林何帛 236~240, 242
 田中一松 6, 407~428
 田中久和 107
 谷柴子 12
 谷文二 180, 181, 186~188
 谷文晁 9, 11, 48, 79, 80, 107, 111,
 124, 171~173, 182~186, 188, 230,
 232, 235, 236, 240, 246, 248, 287,
 294, 299
 田能村竹田 26, 101~103, 107, 109,
 110, 147~149
 田原天皇 46
 俵屋宗達 11, 25, 26, 72, 73, 75~
 83, 85, 87, 88; 229, 230, 238, 244,
 246, 248~250

ち

千春 203
 鳥文斎栄之 373
 千代子光久 202, 204~206
 珍海 5
 陳賢 402

つ

辻惟雄 353
 角田九華 149

う
 上野理一 228
 浮世又兵衛 25, 26
 内田篤兵 239
 内田魯庵 392
 梅沢和軒 102, 106, 109
 浦上玉堂 101, 103, 108, 109, 148
 浦上春琴 108, 109
 雲谷等顔 72

え
 永春(大夫法眼) 197, 201, 204
 栄川院 →狩野典信
 恵光院白 142, 145

お
 王維 63
 王若水(王淵) 19
 鶯蒲 →酒井鶯蒲
 大岡春卜 25, 26, 119, 120, 121
 大關庸徳 327
 太田謙 4, 61, 118, 127, 129, 145, 353, 360~362, 377
 太田澄元 294
 大田南畝 238, 290~292, 296~300, 302, 307
 大槻如電 392, 396
 岡倉天心 31, 128, 129, 383, 385, 393~396, 401, 402
 岡倉覚三 →岡倉天心
 尾形乾山 13, 229, 232~234, 236~241, 289, 293
 尾形光琳 25, 72, 75, 78, 79, 82, 87, 88, 227~229, 232, 234, 237, 239~242, 244, 246, 249, 250, 293, 426~428
 岡田半江 109
 岡田米山人 108, 109
 岡田米仲 234, 235, 288
 岡村直恒 330
 岡本松齋子 197
 岡本善悦 119

小川破笠 293
 小川貢 131, 354, 359, 360
 奥原晴湖 105
 小田百穀 110, 114
 乙羽庵主人 305

か
 會心齋 →狩野養信
 海北友松 72, 250
 夏珪 60
 片野四郎(青邱) 11, 27, 48, 49, 113, 114, 127~129, 141, 144, 145, 255, 353, 359~362, 384
 片野邑平 129
 葛飾北齋 103, 372
 勝盛典子 9, 12
 加藤曳尾庵 12
 加藤遠澤 313
 加藤直種 353
 楯取魚彦 130
 金沢安貞 321, 322
 金山永寿 245
 金行信輔 143, 144
 狩野一溪 76, 213
 狩野永敬 41
 狩野永探 →フェノロサ、アーネスト・フランシスコ
 狩野永徳 14, 24, 79, 263, 265, 270, 281
 狩野立信(永恵) 27, 29, 100, 116, 361, 384, 385
 狩野永納 19, 25, 26, 37~44, 46, 47, 50, 52, 53, 80, 250
 狩野養信(晴川院) 3, 10, 14, 18~21, 23, 24, 27, 139, 255~261, 313, 322, 330, 361, 384,
 狩野小左衛門 266, 273
 狩野惟信(養川院) 244, 340
 狩野山雪 37, 41, 250
 狩野昌運 44
 狩野次郎 259, 260
 狩野甚丞(甚吉) 269, 270, 272~274, 278, 281, 282

狩野宗秀(宗周) 72, 75, 77, 264, 265, 270, 274, 275, 278, 282
 狩野宗徳 270, 272, 282
 狩野即譽 223
 狩野貞信(泰山院) 18
 狩野孝信 25, 269, 281
 狩野雅信(勝川院) 27, 30, 342, 361, 384
 狩野探信 256, 257, 342
 狩野探雪 342
 狩野探幽 6, 17~19, 25, 26, 121, 264, 272, 277, 281, 302, 312, 314, 342
 狩野周信 25, 313
 狩野常信 17, 18, 75, 77, 222, 302, 313, 322
 狩野英信(祐清) 341, 342
 狩野友信 27
 狩野尚信 312, 341
 狩野中信(幸川、薰川) 27, 256
 狩野栄信(伊川院) 3, 5, 9, 10, 14, 18~20, 23, 25, 26, 48, 198, 255, 256
 狩野信義 →朝岡興禎
 狩野玄信(受川) 341
 狩野古信(栄川) 222, 321, 341
 狩野寛信(融川) 332, 333
 狩野博幸 83~85
 狩野正信 24
 狩野昌信 213
 狩野典信(栄川院) 321, 342
 狩野光信 264~266, 269, 273, 275, 278
 狩野岑信 342
 狩野宗茂 320
 狩野元信 16, 263, 276, 278, 280
 狩野元信妻 206
 狩野安信 17, 24, 285, 312, 342
 狩野祐清 257
 狩野甫信(随川) 341, 342
 龜田鵬才 123
 烏丸光廣 228, 248
 狩谷掖斎 9

川上不白 235
 川口長孺 123
 川崎千虎 128, 353
 河尻式部少輔 301
 河村君錫 113
 岸駒 118
 観嵩月 9, 13, 48, 73, 75, 77, 80, 88, 230, 232~236, 287~294, 306
 観世黒雪 228
 韓拙 63
 神田安休 289

き

祇園南海 112, 114
 其角 →宝井其角
 菊岡沾涼 234
 菊田伊徳 48
 岸雅裕 240
 岸弥三郎 256, 257
 徽宗 14, 17
 北尾重政 121
 喜多武清 304, 306
 喜多村信節 287
 木戸孝允 105
 木村重圭 122, 231
 木村探元 124, 131
 行智 205

く

九鬼隆一 128, 129, 360, 361, 399
 久隅守景 116
 邦隆 205
 窪世祥 332, 335, 337
 熊代熊斐 104, 113
 黒川亀玉 113, 119
 黒川道祐 52
 鎌形蕙斎 304
 桑山玉洲 26, 104

け

倪雲林 147, 161
 蕙苑陋夫 292
 溪斎英泉 297

索引

【人名】

あ

相見香雨	230
青木木米	106, 107, 109, 148, 157
浅井不旧	81, 231
朝岡興禎(三楽)	3, 5, 7, 10, 11, 13, 20 ~ 26, 28, 31, 48 ~ 50, 53, 57, 59, 62, 64, 80, 93 ~ 95, 98, 100 ~ 102, 104, 107 ~ 114, 116, 118, 119, 121 ~ 127, 133, 134, 139 ~ 141, 143 ~ 145, 174 ~ 176, 186, 192, 194 ~ 208, 214, 215, 217, 220, 221, 223, 227, 229 ~ 231, 235, 236, 238, 244, 245, 247, 249 ~ 251, 255 ~ 261, 267, 285 ~ 289, 292 ~ 294, 304, 306, 337, 353, 355, 356, 359, 361, 362, 378, 383, 384, 400
朝岡三次郎(三之助、三十郎)	→朝岡興禎
朝岡重三郎	27
朝岡興邦(八太夫)	10, 141
朝岡新左衛門	260
朝岡泰吉	330
朝岡泰善	330
阿野実顕	228
新井惟償	339
新井白石	44, 294
荒木千洲	20, 93, 96, 97
有賀長雄	27 ~ 29, 64, 228
粟田口桂節	256, 259
粟田口隆光	197

い

飯塚桃葉	130
家永三郎	7

井口直樹	130, 354, 357, 359
池田宏	141, 255
池長孟	91
池玉瀾	107, 113
池大雅	101, 103, 104, 107 ~ 109, 113, 114, 118
池山六石	354
以参周省	64, 66
石井研堂	395
石川大浪	9, 12, 232
石田幽汀	119
伊勢屋伝兵衛	114
伊川院 → 狩野栄信	
板谷桂意	256, 257, 332
板谷桂舟	142
市川三升	305
市河米庵	11
一休	25
一枝軒一道(梅船翁)	60
一蟬	293
井筒屋隆兵衛	303, 304
伊藤若冲	103, 120
伊藤樵溪	157, 158
伊藤仁斎	39 ~ 42
伊東東涯	41
伊藤梅宇	40
伊藤蘭洲	296
井上頼圀	131
今泉雄作	131, 354, 360
今村完紀	339
今村養寿	339
岩佐勝巳 → 岩佐又兵衛	
岩佐又兵衛	359, 369
因斯羅我	5

げんぼん こがびこう
原本『古画備考』のネットワーク

2013(平成25)年2月20日発行

定価：本体9,200円(税別)

編者 古画備考研究会

発行者 田中 大

発行所 株式会社 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355

電話 075-751-1781(代表)

印刷 亜細亜印刷株式会社
製本